

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 日本製麻株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3306 URL <https://www.nihonseima.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮森 宏和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中本 広太郎 (TEL) 078-332-8251  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	3,733	18.5	164	187.0	178	139.2	95	97.6
2022年3月期	3,151	△3.8	57	421.9	74	271.4	48	△49.3

(注) 包括利益 2023年3月期 326百万円(553.2%) 2022年3月期 50百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	26.04	—	6.1	4.6	4.4
2022年3月期	13.18	—	3.3	2.1	1.8

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 0百万円 2022年3月期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	4,048	2,511	40.6	448.52
2022年3月期	3,634	2,197	40.3	399.03

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,644百万円 2022年3月期 1,462百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	125	△78	△33	860
2022年3月期	67	103	△13	810

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	—	—	3.00	3.00	10	22.7	0.8
2023年3月期	—	—	—	3.00	3.00	10	11.5	0.7
2024年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00		9.8	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,844	1.0	70	△9.0	69	△21.3	52	1.6	14.18
通期	3,663	△1.9	149	△9.6	146	△18.2	112	17.3	30.55

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	3,673,320株	2022年3月期	3,673,320株
② 期末自己株式数	2023年3月期	7,168株	2022年3月期	7,106株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	3,666,192株	2022年3月期	3,666,216株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,317	7.6	89	38.3	86	46.0	56	31.9
2022年3月期	2,154	△10.1	64	△40.9	59	△41.9	43	△66.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	15.49		—					
2022年3月期	11.74		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年3月期	2,124		964		45.4	263.15		
2022年3月期	2,064		898		43.5	245.12		

(参考) 自己資本 2023年3月期 964百万円 2022年3月期 898百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	1,243	3.4	55	△22.7	49	△4.4	13.37	
通期	2,510	8.3	119	37.6	106	86.7	28.91	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的な一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、経済活動は回復の兆しが見られたものの、ロシアのウクライナ侵攻の影響による資源価格や原材料価格の高騰もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと当社グループにおいては、産業資材事業は得意先の要請に対応し、輸入品の早期供給確保を行い、マット事業は新規得意先の獲得、経費の削減等に注力し、食品事業はコロナ禍後の販売拡大を目指し、SNSやECサイトを活用した広告宣伝を行うなど、それぞれ事業環境に対応しながら業績の回復を目指しました。その結果、当連結会計年度の売上高は3,733百万円（前期比18.5%増）、営業利益164百万円（前期比187.0%増）、経常利益178百万円（前期比139.2%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は95百万円（前期比97.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### （産業資材事業）

黄麻商品は、輸入先インドで早期注文により供給量を確保するとともに、得意先への値上げも順調に進みました。包装資材は、原紙価格の高騰による仕入れ価格の上昇に対し、得意先への値上げが追い付かない状況でありました。その結果、売上高は637百万円と前連結会計年度と比べ11百万円（1.8%）の増収、営業利益は15百万円と前連結会計年度と比べ11百万円（43.2%）の減益となりました。

#### （マット事業）

自動車用フロアマットは日本国内向けの出荷数量は減少しましたが、海外での販売で新規得意先を獲得し出荷数量を伸ばしました。さらに生産拠点を合理化し経費の削減に努めました。その結果、売上高は1,789百万円と前連結会計年度と比べ401百万円（28.9%）の増収、営業利益は87百万円（前期は4百万円の営業利益）となりました。

#### （食品事業）

パスタは、家庭用商品の販売は減少しましたが、飲食店等の外食産業の回復に伴い業務用商品は増加し増益となりました。レトルト商品は一部観光地で需要回復が見られましたが、原材料価格、経費等の上昇により利益は伸び悩みました。その結果、売上高は1,303百万円と前連結会計年度と比べ169百万円（15.0%）の増収、営業利益は59百万円と前連結会計年度と比べ36百万円（156.6%）の増益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は4,048百万円、前連結会計年度末と比較して413百万円の増加となりました。主な要因は、投資有価証券の減少311百万円があったものの、現金及び預金の増加468百万円、原材料及び貯蔵品の増加110百万円、仕掛品の増加74百万円、土地の増加35百万円があったためであります。

当連結会計年度末における負債は1,536百万円、前連結会計年度末と比較して99百万円の増加となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加31百万円、退職給付に係る負債の増加40百万円であります。

当連結会計年度末における純資産は2,511百万円、前連結会計年度末と比較して314百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加84百万円、非支配株主持分の増加132百万円、為替換算調整勘定の増加76百万円であります。この結果、自己資本比率は40.6%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べ49百万円増加し860百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ58百万円増加し125百万円の収入となりました。これは、主として、棚卸資産の増加があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、貸倒引当金の増加があったためであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ181百万円減少し、78百万円の支出となりました。これは、主として、投資有価証券の売却による収入があったものの、定期預金の預入による支出があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ20百万円減少し、33百万円の支出となりました。これは、主として社債の発行による収入があったものの、社債の償還による支出と長期借入金の返済による支出が増加したためであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症への諸対策が進むにつれて景気は持ち直していくことが期待されますが、国際情勢の不安定化や為替相場の円安進行、原材料価格の更なる上昇など、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループは第94期に策定した「新中期経営計画」に基づき、新市場の開拓および新規商品の開発などを行うとともに、需要に即応できる体制の構築を強化していくことで、果敢に収益拡大を図ってまいります。

次期事業年度は、売上高3,663百万円、営業利益149百万円、経常利益146百万円、親会社株主に帰属する当期純利益112百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	816,970	1,285,904
受取手形	18,085	17,388
売掛金	573,369	577,924
商品及び製品	212,946	224,233
仕掛品	170,107	244,869
原材料及び貯蔵品	199,958	310,136
その他	26,236	42,058
貸倒引当金	△224	△689
流動資産合計	2,017,450	2,701,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	199,845	186,345
機械装置及び運搬具（純額）	58,912	57,590
土地	793,860	829,345
リース資産（純額）	6,911	2,961
建設仮勘定	11,181	4,839
その他（純額）	28,740	29,237
有形固定資産合計	1,099,450	1,110,320
無形固定資産		
ソフトウェア	4,631	5,924
リース資産	5,238	3,150
その他	15,256	20,990
無形固定資産合計	25,125	30,065
投資その他の資産		
投資有価証券	433,404	121,819
関係会社出資金	11,123	12,614
長期貸付金	-	5,900
繰延税金資産	24,037	41,992
その他	26,158	25,932
貸倒引当金	△2,225	△2,225
投資その他の資産合計	492,499	206,033
固定資産合計	1,617,075	1,346,418
資産合計	3,634,525	4,048,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,944	298,577
短期借入金	30,000	30,000
1年内償還予定の社債	95,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	154,812	166,967
リース債務	8,739	7,489
未払法人税等	1,990	1,684
賞与引当金	14,800	27,290
その他	114,183	161,845
流動負債合計	730,470	728,855
固定負債		
社債	195,000	230,000
長期借入金	305,073	306,449
リース債務	8,647	1,157
繰延税金負債	9,345	41,263
退職給付に係る負債	187,123	227,652
長期預り保証金	1,500	1,500
固定負債合計	706,689	808,022
負債合計	1,437,159	1,536,878
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	564,343	564,343
利益剰余金	763,252	847,726
自己株式	△5,393	△5,438
株主資本合計	1,422,201	1,506,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,152	△22,797
為替換算調整勘定	83,893	160,525
その他の包括利益累計額合計	40,741	137,728
非支配株主持分	734,422	867,008
純資産合計	2,197,366	2,511,368
負債純資産合計	3,634,525	4,048,246

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,151,011	3,733,311
売上原価	2,432,426	2,834,992
売上総利益	718,584	898,318
販売費及び一般管理費	661,160	733,517
営業利益	57,423	164,800
営業外収益		
受取利息	1,115	1,792
受取配当金	3,856	4,603
持分法による投資利益	-	740
為替差益	16,036	12,560
新型コロナウイルス感染症に係る助成金	3,488	1,890
雑収入	4,733	5,722
営業外収益合計	29,229	27,309
営業外費用		
支払利息	7,066	7,479
持分法による投資損失	339	-
社債発行費	-	2,057
支払保証料	2,332	2,242
雑損失	2,316	1,861
営業外費用合計	12,054	13,640
経常利益	74,598	178,469
特別利益		
固定資産売却益	-	245
投資有価証券売却益	168	-
特別利益合計	168	245
特別損失		
固定資産除却損	-	687
投資有価証券評価損	6,694	-
特別損失合計	6,694	687
税金等調整前当期純利益	68,072	178,027
法人税、住民税及び事業税	7,768	10,430
法人税等調整額	5,575	16,725
法人税等合計	13,343	27,155
当期純利益	54,729	150,871
非支配株主に帰属する当期純利益	6,424	55,398
親会社株主に帰属する当期純利益	48,304	95,473

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	54,729	150,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△774	20,354
為替換算調整勘定	△4,038	154,740
持分法適用会社に対する持分相当額	130	963
その他の包括利益合計	△4,681	176,059
包括利益	50,047	326,930
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	45,686	192,459
非支配株主に係る包括利益	4,360	134,470

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	564,343	725,945	△5,390	1,384,898
当期変動額					
剰余金の配当			△10,998		△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益			48,304		48,304
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	37,306	△3	37,302
当期末残高	100,000	564,343	763,252	△5,393	1,422,201

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△42,377	85,738	43,360	730,061	2,158,320
当期変動額					
剰余金の配当					△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益					48,304
自己株式の取得					△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△774	△1,844	△2,618	4,360	1,742
当期変動額合計	△774	△1,844	△2,618	4,360	39,045
当期末残高	△43,152	83,893	40,741	734,422	2,197,366

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	564,343	763,252	△5,393	1,422,201
当期変動額					
剰余金の配当			△10,998		△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益			95,473		95,473
自己株式の取得				△44	△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	84,474	△44	84,430
当期末残高	100,000	564,343	847,726	△5,438	1,506,631

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△43,152	83,893	40,741	734,422	2,197,366
当期変動額					
剰余金の配当					△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益					95,473
自己株式の取得					△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20,354	76,631	96,986	132,585	229,571
当期変動額合計	20,354	76,631	96,986	132,585	314,001
当期末残高	△22,797	160,525	137,728	867,008	2,511,368

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	68,072	178,027
減価償却費	47,843	52,568
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,694	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△168	-
持分法による投資損益 (△は益)	339	△527
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△71,272	435
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,700	12,490
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,561	22,158
受取利息及び受取配当金	△4,971	△6,396
支払利息	7,066	7,479
固定資産売却損益 (△は益)	-	△245
固定資産除却損	-	687
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,241	14,649
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,443	△152,525
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,121	△21,453
その他	61,126	30,403
小計	76,783	137,752
利息及び配当金の受取額	4,971	6,396
利息の支払額	△7,072	△7,546
法人税等の支払額	△7,593	△10,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,089	125,866
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△53,635	△14,535
有形固定資産の売却による収入	-	245
投資有価証券の取得による支出	△1,812	△726
投資有価証券の売却による収入	172,306	363,701
貸付けによる支出	-	△5,900
定期預金の預入による支出	△260,409	△509,545
定期預金の払戻による収入	260,409	95,744
関係会社出資金の払込による支出	△3,655	-
その他	△9,581	△7,171
投資活動によるキャッシュ・フロー	103,621	△78,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△144,669	△186,469
社債の発行による収入	-	67,942
社債の償還による支出	△50,000	△95,000
配当金の支払額	△10,533	△10,372
非支配株主への配当金の支払額	-	△1,885
リース債務の返済による支出	△8,077	△8,077
その他	△3	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,283	△33,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,006	35,843
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	156,422	49,616
現金及び現金同等物の期首残高	654,041	810,463
現金及び現金同等物の期末残高	810,463	860,080

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当該会計方針の変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社では事業部を基礎とした製品・サービス別の特性等に基づくセグメントから構成されており、「産業資材事業」、「マット事業」、「食品事業」を報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「産業資材事業」は主として黄麻製品、大型包装資材等の販売事業を行っております。「マット事業」は自動車用フロアマット等の製造販売事業を行っております。「食品事業」はスパゲッチ、マカロニ、レトルトソース等の製造販売事業を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用する会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	産業資材事業	マット事業	食品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	625,964	1,387,977	1,133,934	3,147,875	—	3,147,875
その他の収益	—	—	—	—	3,135	3,135
外部顧客への売上高	625,964	1,387,977	1,133,934	3,147,875	3,135	3,151,011
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	625,964	1,387,977	1,133,934	3,147,875	3,135	3,151,011
セグメント利益	27,010	4,635	23,286	54,932	2,491	57,423

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	産業資材 事業	マット 事業	食品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	637,042	1,789,385	1,303,833	3,730,261	—	3,730,261
その他の収益	—	—	—	—	3,049	3,049
外部顧客への売上高	637,042	1,789,385	1,303,833	3,730,261	3,049	3,733,311
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	637,042	1,789,385	1,303,833	3,730,261	3,049	3,733,311
セグメント利益	15,349	87,285	59,752	162,387	2,413	164,800

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額 (円)	399.03	448.52
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	2,197,366	2,511,368
普通株式に係る純資産額 (千円)	1,462,943	1,644,360
差額の主な内訳 非支配株主持分 (千円)	734,422	867,008
普通株式の発行済株式数 (千株)	3,673	3,673
普通株式の自己株式数 (千株)	7	7
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (千株)	3,666	3,666

項 目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益 (円)	13.18	26.04
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	48,304	95,473
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	48,304	95,473
普通株式の期中平均株式数 (千株)	3,666	3,666

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。